

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン科											
プロダクトデザイン実習4A											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	袴田哲郎			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
企業や商品のブランディングの仕方、プロダクトにおけるアートディレクションの重要性を理解し、自分で考えたコンセプトに基づいた立体デザイン・商品企画の方法を学ぶ。制作を通じてデザイン作業を学ぶと共に、目的に応じたモックアップ再現やデータ作成などを学ぶことにより、トータルディレクション能力を身につけることを目的としている。											
到達目標											
実際のクライアントに対し満足の得られるデザイン提案を行う。学外の社会人を相手にしながら、現場目線でのデザインの進め方を学び、評価・検証を経ながら完成度の高い提案内容を目指す。模型製作についても画一的に捉えず、臨機応変に素材や加工方法を研究し、場合によってはレーザー加工や3Dプリンタ出力等も活用して仕上げの良いプレゼンテーションにつなげていく。											
授業方法											
企業連携課題におけるプロダクトデザインの意味や位置づけ、考え方などを学ぶ。モノ、コトの成り立ちを知るとともに、経済的側面、生産的側面を考慮しながら課題を進める。クライアント企業からの各種要求項目、および設計条件を割り出し、それに則ったイメージづくりからアイディア展開、モデル化、の流れを経験し、スケッチワークやモデリングワークにおける造形表現手法を学習する。											
成績評価方法											
課題完成度40% 提出課題の完成度を評価する。 リサーチ20% 制作準備と過程を評価する。 相談検証20% 制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。 プレゼン20% 制作物の発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
工具・機具を使用した模型製作時怪我をしないよう注意して進める。スケジュールに則り、プレゼンテーションに遅れの出ないように学生自身がマネジメントして進める。制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス・テーマの素材から新しい表現を模索する										
第2回	テーマの素材から新しい表現を模索する										
第3回	テーマの素材から新しい表現を模索する										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
プロダクトデザイン科	
プロダクトデザイン実習4A	
第4回	様々な表現トライアルから商品提案を行う
第5回	学外見学
第6回	企業からの課題を受け企画 アイディア展開する
第7回	複数のアイディアからコンセプトにまとめていく
第8回	コンセプトの方向性からデザインのアイディアを展開する
第9回	コンセプトの方向性からデザインのアイディアを展開する
第10回	絞ったアイディアを実際にアクリルを使用して検証する
第11回	絞ったアイディアを実際にアクリルを使用して検証する
第12回	絞ったアイディアを実際にアクリルを使用して検証する
第13回	最終提案出来るデザインモックアップを完成させる
第14回	完成した模型を美しく撮影する事ができる 基礎的なプレゼンテーションボードが作れるようになる
第15回	作品をプレゼンテーション。データに基づいた具体的・効果的なプレゼンテーションが出来るようになる